

料金後納  
ゆうメール

# ビジネスサポートながの 10 2020



人づくりこそが  
すべて



長野県長野市大字穂保731番地1  
TEL.026-295-8800 FAX.026-295-8813  
創業/平成2(1990)年 資本金/4,459万円  
事業内容 ●幼稚園・保育園キッズ食事サービス ●医療・福祉・社員食堂の食事サービス ●キッズパン製造販売 ●食育教育推進 ●アレルギー等機能性商品開発 ●WEBショップ ●農業体験&レストラン展開  
<https://mealcare.jp>

経営者シリーズ  
トップ  
かく語りき

株式会社ミールケア  
代表取締役社長  
**関 幸博氏** Seki Yukihiro

保育園幼稚園をはじめ、病院や介護施設、社員食堂への給食提供、子どもたちに向けた食育の実施など、さまざまな「食」の体験を提供する株式会社ミールケア。顧客は約500施設にのぼり、現在の売上げの7割は全国に広がる幼稚園・保育園給食で占められている。2019年4月には、給食現場で20年以上かけて培ったノウハウを凝縮した「Kids Meal給食サポートシステム」をリリース。献立作成から食材の購買まで一元管理可能なシステムはすでに100以上の施設で導入され、1日に6万食もの「AI給食」を提供している。

昨年10月の台風19号により、穂保にある本社周辺が3mもの浸水、水没に見舞われた。事務所をはじめ、子どもたちに人気のパンの生産工場、自然食を提供する直営のレストランなどが運営不能となる厳しい状況の中、社員、関係業者が一丸となって、流れ込んだ泥のかき出しや機材の片付けを2カ月以上かけて行った。

甚大な被害を受けながらも、SDGsの取り組みや地域のためのボランティア活動を積極的に行う同社。伊那食品工業最高顧問・塚越寛氏から「水害にあった場所には木を植えると良い。森を育て、お客様の憩いの場となる自然いっぱいの環境を作りなさい」と提言を受けたこともあり、9月には植樹祭を開催。一般公募により集まったお客様と社員、総勢160名で、これまでに約5000本の苗木を植えた。同社代表取締役・関幸博氏(68)は「命を守り、防災林として地域を守り、未来を繋ぐ、緑いっぱいの『森』をこの地に育てたい」と語る。

地域貢献活動は本社のある長野県にとどまらない。関東

事業本部では、毎朝の東京駅八重洲口付近でのごみ拾いを10年以上継続している。「地域に貢献できているか、誰かのお役に立っているか、経営理念に沿っているか。常に立ち返りながら、社員と共に理念を体現していくことが人間的成長に繋がっている」とそう穏やかに語る関氏。「『お客様に喜んでいただくこと』を最重要視し、力を注いできました。その結果、『社員がいい』『商品がいい』『サービスがいい』と評判をいただき、ミールケアのファンになってもらうことを目指しています」

同社は成長よりも社内の「成熟」を重視し、社員教育にひときわ力を入れている。その取り組みのひとつが「社内木鶏会(もっけいかい)」だ。月に一度、人間学がテーマの月刊誌をテキストに、感想文を書いて発表し合うことで「人間力」を養う。「木鶏」とは、荘子に収められる故事に由来し、木彫りのように、何事にも動じない強さを秘めた鬪鶏のこと。細やかな文字の感想文からは、関氏の想いが社内に浸透している様子が伝わる。

「地道に社員の人間力を磨き、質を高めていけば、こちらから商品をアピールしなくてもお客様が選んでくださいます。『評判が最善の紹介状』ですから」社員一人ひとりがお客様を思って働くこと。企業として信頼していただくこと。これらを叶えるためには「人づくり」こそがすべてだと、関氏は言う。「『あなたがいれば安心』と、まわりの皆様から頼りにしていただける社員。その一人ひとりが世の中を照らす灯となり、『万燈照国』となることで、社会のお役に立ち続けることが私たちの願いです」

回	覧